

「ルーツ・ユアセルフ主催」



精神科訪問看護

における作業療法の視点

「精神科訪問」に特化した研修会

keyword:精神科訪問,多職種連携,人権

ルーツ・ユアセルフの研修会は「受講して終了」ではありません。希望者はそのままディスカッションに参加することができます。ご希望であれば講師と繋がることも可能です。質問なども含めて後日、講師と当法人の高橋章郎との振り返り動画も配信します。ぜひ、現場での実践にご活用ください。

講師：戸田竜也(一般社団法人SCRAP&BUILD)
(作業療法士,相談支援専門員,修士(社会福祉学))



↑講師紹介

2025.4.12 19:00~21:00

定員：50名

対象：作業療法士、看護師、

精神保健福祉士など医療専門職の方はどなたでも

会場：ZOOM

参加費：3000円

※日本作業療法士協会が提供する作業療法士の生涯教育制度（SIG）対象外です



←申し込みはこちら
4月9日×切



ルーツ・ユアセルフ主催 精神科訪問看護における



作業療法士の視点

講師紹介

戸田竜也（とだたつや） 1995年生まれ（30歳）
東京都国立市出身
作業療法士・相談支援専門員・修士（社会福祉学）



作業療法士としての道を歩み始めたきっかけは、双子の兄が脳性麻痺の当事者であったことからである。2017年に作業療法士免許を取得し、精神医学研究所附属東京武蔵野病院（板橋区）に入職した。現場での経験を通じて、障害や病気の原因を個人や家族に求める専門家の判断や雰囲気違和感を感じ、**社会的な視点**で障害に向き合う重要性を実感した。

2019年には岡崎クリニック（墨田区）に転職し、ACT（Assertive Community Treatment）という包括型地域生活支援に従事した。また、岡崎クリニック在職中に大学院（社会福祉学）で精神障害者家族へのインタビュー調査を行い、その経験から地域で生活する権利が守られるべきだと強く感じるようになった。

2022年には、その理念を実現するためにクラウドファンディングで資金を調達し、一般社団法人SCRAP&BUILDを設立した。「**障害は社会に存在し、個人や家族に問題を押し付けるものではない**」という信念のもと、地域でのアウトリーチ活動を積極的に行っている。この法人の下で、以下の事業所を開設している。

- 2022年：相談支援事業所ヨハク
- 2023年：訪問看護ステーションヨハク
- 2024年：自立生活援助事業所ヨハク

法人としては、2023年度から一般相談支援事業の地域移行支援を活用し、これまでに約40名の退院支援を行ってきた。

個人としての市民活動としては、2023年に「**身体拘束を考える精神医療従事者の会**」の設立に**参画**し、精神科医療における身体拘束縮減の取り組みにも力を入れている。



SCRAP&BUILD

所属学会

【所属学会】
日本病院地域精神医学会
コミュニティメンタルヘルスアウトリーチ協会（アウトリーチネット）

研修keyword

精神科訪問,多職種連携,人権